

入院のご案内

・ 当院へ入院（リハビリ、長期療養、その他）を希望する患者様 ご家族様へ

当院には、①外来受診後治療が必要な方が入院する病床、②他の急性期病院で治療がほぼ終了してもリハビリテーションの継続が必要な方が入院する病床、③長期の療養が必要な方が入院する病床があります。

ご家族の方でお困りのことがございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

お問い合わせ先 地域医療連携室 0297-66-6333

直接のご来院ですと、相談員が面接やカンファレンス中でお待たせしてしまう場合がございますので、事前にご連絡をいただいた上でのご来院をお勧めします。



診療に関するお知らせ

【4月から呼吸器・整形外科の診療体制が変わります】

呼吸器科：伊藤 昌之先生の診療が下記の通り変更になります。

	午前	午後
4月	11日・25日	4日・18日
5月	9日・23日	16日・30日
6月	6日・20日	13日・27日

整形外科：水曜日、木曜日に大島 博先生の診療が始まります。

木曜午後の診療は全診療科、休診とさせていただきます。

【外来診療に関するアンケートを行いました】

12月14日から16日に外来診療についてのアンケートを行いました。

受診者総数2744名の中、1596名の方からご回答いただきました。

ご協力いただき有難うございます。

アンケート結果につきましては、後日待合室に掲示させていただきます。



発行/編集
医療法人 竜仁会
牛尾病院 広報委員会
Tel : 0297-66-6111
Fax : 0297-66-5351
http://www.ryujinkai.or.jp

1面 節分の豆まきについて

2面 介護療養病棟の紹介

3面 2018年 戌年です

4面 地域医療連携室、診察に関するお知らせ

節分の豆まきについて



暦の上では春立ちましたが、まだまだ寒い日が続いております。節分ということで療養病棟や各施設でも元気な声が聞かれ、子供の頃を思い出しながら豆まきについて少し探ってみました。

*なぜ豆まきをするのかな

節分とは季節を分けるという意味で、「立春・立夏・立秋・立冬の前日」のことをいいますが、旧暦で新年の始まりと重なることの多い、立春の前日が重要視されるようになりました。春を迎えることは、新年を迎えるとも同じくらい大切な節目であったため、室町時代頃より節分といえば立春の前日だけをさすようになったようです。

年越しに当たる節分の夜は、普段姿を隠している鬼や魔物が出現しやすいと考えられており、豆まきはそれを追い払う行事なのですね。



*節分の豆が大豆のわけは

大豆は五穀のひとつで穀霊が宿るとされ、米に次いで神事に用いられてきました。米より粒が大きく、悪霊を祓うのに最適なことや、魔の目（魔目＝まめ）に豆をぶつけ、魔を滅する（魔滅＝まめ）にも通じます。また昔々、京都の鞍馬山に鬼が出た時、毘沙門天のお告げにより鬼の目に投げつけ退治したという話もあるようです。

ただし豆まきの豆は、炒り豆でなければなりません。生の豆を使って、拾い忘れた豆から芽が出ると縁起が悪いとされるからで、「炒る」から「射る」にも通じます。



また豆まきの他に鬼の嫌いなものは、「臭い鰯の頭」と「痛い柊のとげ」とされ、鰯の頭を焼いて柊の枝に刺し、家の戸口に置いて鬼の侵入を防ぐ風習が生まれました。それも最近はずいぶん少なくなりましたね。

<暮らしの歳時記ガイド:三浦康子 著 より引用>

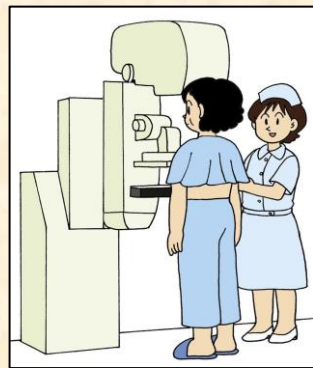
乳癌検診の勧め

乳癌は近年増加傾向にあります。乳癌と診断される患者さんは、30歳半ばから急激に上昇し、40歳後半でピークとなり、60歳後半から徐々に減少します。しかし、これ以上の方は乳癌にかからないという年齢はありません。

現在乳癌の完全な予防法は、残念ながらありません。しかし乳癌は、早期発見・早期治療にて完治可能な癌です。何も症状が無くても、積極的に乳癌検診（市町村主催の検診や人間ドック）に参加してください。乳癌検診ではその方の年齢に応じて、マンモグラフィ（レントゲン検査）と超音波検査を単独もしくは組み合わせて行います。

ただし、検診も100%ではありません。定期の検診を受けていても、乳房に硬いしこりを感じたり、乳頭から異常な分泌物が出た際には、乳腺外来を受診してください。

乳腺外来を初めて受診する患者さんの7~8割の方の症状は、“乳房痛・違和感・張り感”です。そのような症状は、“乳癌の特徴的な症状”ではありません。定期の検診を受けていれば、あわてる事はありません。ただし、“そのような症状があれば乳癌はない。”とも言えません。1度も検査を受けていない方は、それをきっかけに検診を受けるようにしてください。



乳腺・内分泌外科 田中 秀行

介護療養病棟の紹介

病院3階に介護保険を使用して入院する60床の「介護療養型医療施設」があります。要介護1~5の認定を受けた方で医学的管理が必要な方、例えば経管栄養、痰の吸引、酸素吸入、点滴などを行っている寝たきりの高齢者の方が対象となります。もちろん病院なので医師、看護師、介護職員のほかに、薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの専門職もケアを行っています。

病棟での行事

長期にわたる入院生活を楽しんでいただけるように、ハーモニカや日本舞踊などたくさんのボランティアの方のご協力をいただき、毎月お誕生会や季節の催しをしています。また、アニマルセラピーを実施しており、動物とのふれあいを通して表情や、指先の動きなどの日々のケアに役立っています。

お問い合わせ先は地域連携室です。



2018年 いぬ年です



介護付き有料老人ホーム ひのき
初詣に行きました！



かるがも保育園の子どもたち
豆まき



私達、年男・年女です!!

今年は、有言実行の精神で昨年以上に仕事に対して真摯に取り組み、自分自身の成長に繋がるような一年にしたいと思います。そして利用者様から信頼されるスタッフになります。

牛尾病院 デイケア 青木葉雄哉

今年も患者様や利用者様への
よりよいリハビリをできるように
精いっぱい励んでいきたいと思ひます。
今年もよろしくお願いいたします。
リハビリテーション科 宮澤峻・長谷川成美



今年も年女として、より一層患者様やご家族様から犬のように親しまれる相談員を目指していきたく思ひます。お見掛けしましたら、どうぞ気軽にお声かけください。よろしくお願ひ致します。

社会福祉士 山下智美

